



～新規参加施設紹介～

国見ヶ丘内科・糖尿病クリニック

当法人では、地域医療連携の輪を広げるため新規参加施設の拡充を進めております。そこで、2026年5月よりご参加いただいた仙台市青葉区国見ヶ丘の「国見ヶ丘内科・糖尿病クリニック」院長 小野寺 啓先生にMMWINを導入されたきっかけや、診療現場でどのように活用され、どんなメリットを感じられているかなどお話をお伺いしました。



▶MMWINを導入されたきっかけを教えてくださいませんか？

令和8年度の診療報酬改定です。「医療DX推進体制整備加算」が廃止され、「電子的診療情報連携体制整備加算」が導入されましたが、MMWINに加入していると当院の場合は初診時に加算1（加算1：15点、加算2：9点、加算3：4点）が算定可能でした。また、連携施設から紹介状を受け取った際にMMWIN上で情報を確認すると、「電子的診療情報評価料」（30点）の算定も可能になりました。加えて、当院は参照施設として参加し、タブレット端末での運用を選択したことで初期導入費用をゼロに抑えられました。機器もレンタルで運用負担が少ない点も導入の後押しとなりました。



国見ヶ丘内科・糖尿病クリニック
院長 小野寺 啓先生

▶日々の診療ではどのように活用されていますか？

当院は、東北大学病院や東北労災病院と患者さんのやりとりをすることが多いので、普通に患者さんの情報が欲しいと感じる場面が多々あります。もちろん、紹介状に必要なことは書かれているのですが、検査データや、担当医師のカルテ記載など、紹介状に表現されないニュアンスを汲み取れることがあります。

また、紹介状が届くよりも先に、リアルタイムで情報が得られるのもメリットです。さらに、自分の専門外のことで紹介した場合には、それが自分にとって勉強にもなります。クリニックを開業すると情報弱者になり、知識のアップデートがどうしても弱くなるので、重宝しています。

現在、MMWIN上で医師カルテを開示している施設

No.	施設名	構築状況
1	東北大学病院	2024年7月開示
2	大崎市民病院	2025年7月開示
3	石巻赤十字病院	2025年9月開示
4	東北労災病院	2026年6月23日開示

▶実際に使ってみて良かった点や、改善してほしい点はございますか？

まだ導入したばかりで、これからですね。情報量が多い患者様では画面表示に時間を要することがあるため、今後のアクセス速度の向上に期待しています。

国見ヶ丘内科・糖尿病クリニック 院長 小野寺先生のMMWIN導入と日々の診療にご活用いただき感謝申し上げます。

MMWIN参加施設の基幹病院では医師カルテの公開が進んでおり、情報共有が促進されておりますので、医療DX化や地域医療連携にご興味のある施設様のご参加をお待ちしております。



お知らせ



MMWIN事務局からのお知らせです



ついに**本格始動!**

MMWINミニアプリ

みやぎ県民公式アプリ(ポケットサイン)にMMWINミニアプリを導入しました。

患者さん自身が登録を行うことで「健康共通ID」が即日発行され、診療情報の共有がスムーズになります(従来は発行まで約2週間)。すでに、カードをお持ちの患者さんもアプリに切替える事ができます。

アプリ利用希望の患者さんにはパンフレットをお渡しください。MMWINホームページからダウンロードも出来ます。

https://mmwin.or.jp/image/pdf/260730_pocketsign.pdf

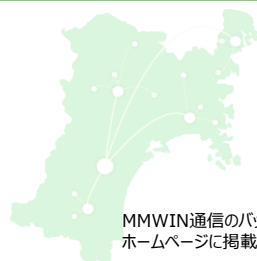
スマホ画面イメージ図



- 新規患者様にはスマホで加入申込頂くようご案内をお願いいたします
- 登録済の患者様にもアプリをおすすめ下さい
- スマホをお持ちではない方や操作が苦手な患者様には引続き加入申込書をお渡しください

一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団MIYAGI
〒980-0872 仙台市青葉区星陵町1-1東北大学病院仮管理棟1F
【事務局】 【サポートセンター】
TEL 022-725-8411 FAX 022-725-8514 TEL : 022-399-6880
E-mail : office@mmwin.or.jp URL : <http://mednetmiyagi.or.jp/>

当財団からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団MIYAGIの登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN通信のバックナンバーは
ホームページに掲載しております